

## 編集委員会

編集委員会 中塘二三生

大阪体育学研究の No.50 からは、これまでの研究奨励賞の顕彰に加えて、学会賞も顕彰されることになった。学会賞は体育学に関する優れた研究業績の表彰制度であり、その趣旨を踏まえた会員諸氏の寄稿を期待している。なお、大阪体育学研究の「投稿規程」の場合、図表の大きさも規定され、投稿の面でもこれまでの郵送に加えて、電子ファイルによる投稿等の変更も可能になった。投稿の際には、それらの詳細を本学会のホームページから参照して頂きたい。

一方、編集委員会とは若干異なるが、大阪体育学会第 50 回大会の案内も加筆した。多くの参加を望んでいる。

1) 大阪体育学会第 50 回大会についてのお知らせ：メインテーマ「高齢者の元気長寿への支援を考える」

学会会長 伊藤章、大会会長 中塘二三生、実行委員長 河鱈一彦

大阪体育学会第 50 回大会では、一般演題、総会、基調講演・シンポジウムに加えて、特別企画：体育系専攻学生の企画と運営による発表会を行う。

① 期日：平成 24 年 3 月 18 日（日）10：30～17：30（受付 14 階 10 時～）

② 会場：関西学院大学梅田キャンパス K.G. ハブスクエア大阪  
[http://www.kwansei.ac.jp/kg\\_hub/](http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー 10 階&14 階

阪急梅田駅 茶屋町口改札口より北へ徒歩 5 分

③大会概要

(1) 一般口演発表（公募）：午前、午後

1) 申し込み締め切り期日：平成 23 年 11 月 15 日（火曜）

2) Supplement 締め切り期日：平成 23 年 12 月 10 日（土曜）

3) 応募資格：演者は、大阪体育学会会員に限る。共同研究者は、大阪体育学会以外の学会所属会員の場合には参加費 1,000 円を大会当日に収める必要がある。

4) 大会参加費：会員は無料であり、非会員、学生（学生の共同研究者を含む）は、大会当日 1,000 円を収める。

5) 一般演題発表：一般演題発表は全て口頭発表とし、発表時間は 15 分（口演 9 分、討論 6 分）で行う。

⑤基調講演・シンポジウム（公開、無料）：午後 司会 河鱈一彦（関西学院大学）

人数制限（100 名未満）があるため、会員も含めて予約による先着順とする。

基調講演者 田中喜代次（筑波大学教授） 「高齢者の元気長寿への支援を考える」

シンポジスト

- ・ 身体活動の指導からみた高齢者支援 金 憲 経（東京都健康長寿医療センター副部長）

- ・ 日本の福祉行政施策からみた高齢者支援 大和 三重 (関西学院大学教授)
- ・ 諸外国の福祉行政施策からみた高齢者支援 陳 礼 美 (関西学院大学准教授)
- ・ 保健師・看護師からみた高齢者支援 白井みどり (大阪市立大学教授)

⑥ 特別企画：保健体育専攻学生の企画と運営による発表会：午前、午後

- ・ 発表学生の学年は、問わない。
- ・ 本学会会員の指導による発表とし、同指導者は、発表時には出席する。
- ・ 申し込み書、Supplement の記載法は、本学会ホームページに記載した。
- ・ 申し込み締め切り期日：平成 24 年 1 月 31 日 (火曜)
- ・ Supplement 締め切り期日：平成 24 年 2 月 10 日 (金曜)
- ・ 大会参加費：会員は無料とし、非会員、学生 (学生の共同研究者を含む) は、大会当日 1,000 円を収める。
- ・ 発表時間等：発表は全て口頭発表とし、発表時間は、概ね 12 分 (口演 8～10 分、討論 2～4 分) とする。